令和３年２月８日

令和３年度当初予算説明資料

| | |
|---|---|
| 番号 | 5 |
| 事業名 | 保育の充実　1/2【公立保育園】<br>①超延長保育、　②主食炊飯、　③使用済紙おむつ回収 |
| 予算額 | ①会計年度任用職員報酬等　3,900 千円<br>②賄材料費　9,498 千円<br>③ダストボックス購入　1,456 千円（令和２年度予算対応） |
| 特定財源 | ①超延長保育料収入等　1,143 千円<br>②児童食材費徴収金等　9,277 千円<br>③－ |
| 事業の概要 | ①春日保育園にて、希望者（市内保育園の在園児）に対し、平日最長 21 時までの「超延長保育」を実施する。<br>➔利用料金：月額 5,000 円～11,000 円（給食代は、別途徴収）<br>②全公立保育園・こども園の 3～5 歳児に対し、給食時に「主食（ご飯）を炊飯」し、提供する。（現在は６園で実施）<br>➔主食代：月額 500 円（副食材料費（おかず等）は、月額 4,500 円）<br>③全公立保育園・こども園で出る「使用済紙おむつ」を園にて一括処分する。（市清掃事業課が週２回回収）<br>➔負担金：無料 |
| 事業の背景など | ①「市子育て支援に関するアンケート」等からも 19 時以降の延長保育の希望や就労形態の多様化や広域化により延長保育の需要が一定数見込めるため。<br>②弁当箱を介しての感染症の防止や保護者要望等から「園にて主食（ご飯）を提供してほしい」との声や園職員の運用・管理上の煩雑性等がある。<br>③新型コロナウイルス感染症対策及び保護者要望等から「園にて使用済紙おむつを一括処分してほしい」との声や園職員の運用・管理上の煩雑性等がある。 |
| 目的・効果など | ①就労先から時間的余裕を持って迎えに来ることができる。<br>就労先の選択肢の拡大とともに、子どもを養育する費用（収入）の一助となる。<br>②給食の安全性の向上、感染症リスク軽減とともに、炊き立てご飯が食べられる。<br>ご飯持参不要による保護者の負担軽減や保育士の作業軽減に寄与する。<br>③園にて「使用済紙おむつ」を一括処分することで保健・衛生管理の向上と保護者の負担軽減や園職員の作業軽減に寄与する。 |
| 事業スケジュール | ①超延長保育　：R3.10 月開始（平日のみ）<br>②主食炊飯　：R3.4 月開始<br>③使用済紙おむつ回収　：R3.4 月開始 |
| 担当課 | 健康福祉部　こども局　こども未来課　電話５３－４０３２ |